広島市・福山市全事業所 PCR 検査集中実施（令和３年５月６日）

〇　本日は、広島市・福山市全事業所PCR検査集中実施についてご説明します。

スライド 2
〇　全国的にも感染の拡大が続く中、本県においても、広島市や福山市を中心に拡大傾向が続いており、直近１週間の人口１０万人あたりの新規報告数は５月２日にステージⅢの基準である１５人を超え、その後も拡大が続いています。

スライド 3
〇　本県においては、この大型連休中、クラスターの発生などにより、感染が収まる傾向がみられません。
〇　特に、広島市と福山市において感染が拡大し、全体の８割を占めており、ご覧のように、各指標の悪化が見られます。

スライド 4
〇　加えて、この大型連休中の県外からの流入推計人数を見ますと、往来の最大限自粛を呼び掛けていましたが結果的には、緊急事態宣言地域である東京、大阪、兵庫、京都、グラフでは赤色の地域から、　５月３日（月）には１万５千人を超える方が来られています。
〇　また福岡県や愛知県といった、グラフでは黄色の感染拡大地域からは３万５千人を超える方が来られており、急拡大を加速させる原因になると強く懸念しています。

スライド 5
〇　そして、感染拡大に伴い、医療提供体制への負荷も増加しています。

〇　こちらは、病床数及び宿泊療養施設の室数と、実際の使用数の推移を示したものですが、現在県内では、ステージⅣの基準である５０％を超えて　推移している状況です。

〇　現時点では、ただちにひっ迫している状況ではありませんが、この状況をふまえ、５月下旬までには合計で1、600以上の病床数又は室数を確保するよう既に作業を始めています。

〇　しかしながら、これ以上の医療提供体制への負荷を防ぐために、ここで感染拡大を食い止めなければなりません。

スライド 6

〇　次に、最近の感染例の特徴ですが、「県外往来」「飲食関係」「職場内」の　　３つがキーワードとして挙げられます。

〇　県外往来に関する感染については、ＰＣＲ集中実施により一定程度捕捉でき、県外往来を由来とした感染拡大には歯止めがかかった状態にあります。

〇　しかしながら先ほどお示しした、大型連休中の県外からの流入により、　　今後増加していく可能性もあり、引き続き注視が必要です。

〇　一方、飲食関係についても、ＰＣＲ集中実施によりある程度の捕捉が進んでいるものの、増加傾向に歯止めがかかっておらず、ＰＣＲ検査の強化に加えた、さらなる対策が必要だと考えています。

スライド 7

〇　また、職場内での感染も継続しています。
〇　直近では、相対的な割合は低下していますが、飲食とならび一定数発生し続けており、クラスターも複数発生しています。

〇　職場での感染はその後家庭に持ち込まれる可能性も高いと考えていますので、職場への対策も重要となります。

スライド 8

〇　こちらは職場に対して集中検査を実施する狙いについて図で示したものですが、職場での検査を広く行うことは、単に職場内での感染を抑えるにとどまらないメリットがあると考えています。

〇　職場には、出張などで県外に行ったり、外食をしたりと感染のリスクが相対的に見て高く、県外由来、飲食由来の感染が持ち込まれていると推察しています。

〇　職場での検査による感染者の捕捉は、結果的に、県外由来や飲食由来の感染への捕捉につながり、さらに、家庭へ持ち込まれた感染についても早期に発見することができ、感染拡大防止の大きな効果が得られると考えています。

〇　そうしたことから、出来るだけ多くの職場の皆様に参加していただくことが重要です。

スライド 9
〇　そのため、連休中の感染状況などを踏まえ、連休前にお伝えしていたとおり、事業所を対象に集中実施を行うこととしました。
〇　なお、これまでは広島市の全事業所を対象とお伝えしていましたが、　　現在の感染状況を踏まえ、福山市の全事業所も対象にすることとします。

スライド 10
〇　こちらが、まず、広島市内で行う集中実施の概要です。広島市の従業員１０名以上の事業所に、お勤めの方全てを対象としています。
〇　対象人数は４０万人で、その半数の２０万人を目標とします。

〇　予約ホームページに入力していただくと、予約センターから回収人数等の調整の連絡をします。その後、検査キットを事業所に送付し、午前中に採取していただいた検体を、午後に集荷し、検査を実施する仕組みとなっています。回収した翌日又は翌々日に陽性者へ連絡します。

〇　検査実施率の向上を狙い、検査キットを事業所に配布し、回収を行う予定としています。
〇　予約受付を本日５月６日からスタートします。詳細については、県のホームページをご覧ください。

スライド 11
〇　こちらは、福山市で行う集中実施の概要です。福山市の従業員１０名以上の事業所に、お勤めの方全てを対象としており、基本的な内容は広島市で行うものと同様ですが、予約の受付は５月13日から、検査は５月１９日からとなっています。
〇　福山市における、目標の人数は約8万人としています。
〇　詳細については、県のホームページをご覧ください。

スライド 12
〇　広島市における実施スケジュールです。目標20万人に対し、効果的に広く検査を行うため ４つの区ごと2回に分けて、回収期間を分けています。

〇　予約制ですので、あらかじめ予約センターに電話をお願いします。

スライド 13
〇　こちらは、福山市における実施スケジュールです。こちらについても、予約制ですので、あらかじめ、予約センターに電話をお願いします。

スライド 14

〇　実施にあたっては、特措法第24条9項に基づき、広島市・福山市の事業所に対してＰＣＲ検査を受けることを要請します。

〇　検査の結果が陽性だったら、対応に困るので受けさせたくないということがあるかもしれません。

〇　しかし、日にちが経って陽性だとわかった場合の影響が大きくなります。遅ければ遅いほど取引先への影響も大きくなるかもしれません。
〇　陽性となったご本人の方にとっても、早期の治療や宿泊療養への移行により、重症化の回避や家庭への感染拡大回避につながると期待できます。

〇　今は、拡大時期ですので、従業員の方への受検を勧めてください。
〇　さらに、陽性者が出た場合は、積極的疫学調査にご協力をお願いします。

スライド 15
〇　また、同じく特措法24条9項に基づき、流川・薬研堀地区の飲食店の経営者の皆様へ、ＰＣＲ検査を受けるよう要請します。
〇　現在、ＰＣＲ検査集中実施として各お店を訪問していますが、検査に協力いただいているお店が5割程度です。

〇　直近では、広島市中心部繁華街での感染が増えています。さらなるご協力をお願いします。
〇　なお、陽性者が出た場合は、積極的疫学調査にご協力をお願いします。

スライド 16

〇　現在、広島県全体ではステージⅢであると認識しており、広島市と福山市ではその中でも感染の拡大が進み、特に広島市は極めてステージⅣに近い状態であると認識しています。県民の命、健康、日常生活への支障をきたす危機的な状況にあるという認識です。

〇　ステージ認識及びステージ認識に基づく対策について、専門家に意見を伺った上で明日以降早急に、本部員会議を開催したいと考えています。

スライド 17

〇　県ではこれまで、検査の徹底により、感染者を早期に発見し、感染の連鎖を遮断することで経済的に負荷の大きい、行動制限を避けてきました。

○　そして今回、広島市と福山市の全事業所向けの集中実施により、感染の連鎖遮断を徹底、強化します。
○　しかしながら、感染力の強い変異株の増加などにより、市中感染も進み、感染者の早期発見とそこからの感染経路の遮断だけでは追いつかなくなってきた状況にあります。

○　さらに、連休における県外からの流入の多さなど懸念事項が多いため、　　早く深く短く手を打つための「幅広い人出の削減」、つまり、外出制限や出勤削減などが該当しますが、そういった対策を追加で行う必要があると考えています。

スライド 18
○　今回の感染拡大では、様々な経路での広がりが確認されているため、　　幅広い人出の抑制に向けて制限をかけ、人と人の接触を削減する必要があります。
○　この人出の抑制のための対策については、明日以降早急に、本部員会議を開催し、その内容を決定します。

○　さらに、現に感染の場となっており、感染拡大防止効果が大きいと見込んでいる特定エリアの飲食店を対象に制限をかけることも検討しています。具体的なエリア、要請内容の詳細について、実施の決定や、詳細が決まりましたら改めてお伝えします。

スライド 19
○　最後に、県民の皆さまへのお願いです。鼻づまりや喉の痛みなど、普段なら病院に行こうと思わないような軽い症状でも、違和感を感じたらすぐ医療機関を受診してください。
○　直近のデータでは、医療機関に行って検査を受けた方の20人に1人は陽性となっています。

スライド 20

○　改めて、この連休中の状況をお伝えしますと、先ほどお示しした資料と同じものですが、大型連休中に、緊急事態宣言地域や感染拡大地域からの人の流入が急増しています。

スライド 21

○　このため、本県では今後、県外由来による感染の急拡大が懸念されます。
○　さらに、変異株の感染力の強さもあり、誰もが感染する可能性が高まっています。
○　こうしたことから、例えば、
・県外に行った…
・県外から来た人と会った…
・出かけた先が、予想以上の人混みだった…

・飲食時の対策が万全だったか不安がある、など
気になることがありましたら、無症状であっても、検査を受けてください。

スライド 22
〇　改めて、広島県のPCR戦略の全体像をお伝えします。
〇　県外からの転入や往来を対象とした春の集中実施は5月16日で終了しますが、広島市と福山市では、対象56万人規模の全事業所集中検査を新たに実施します。
〇　また、モニタリングスポットでは引き続き、県内だれでも受検していただけます。なお、三原の臨時スポットは5月16日までの開設を予定しています。

〇　ほか、従来の県内5カ所のPCRセンターに加え、5月17日から、本通りにも新たにPCRセンターを設けます。
〇　こうした検査体制と、早く深く短く適切に行動制限を行うことで感染を抑え込んでいきたいと考えています。全県一体となって、この局面を乗り切ってまいりたいと思いますのでご理解ご協力をお願いいたします。